令和7年度

津軽北部二期農業水利事業

十三湖機場他現場調査推進技術業務

特別仕様書

東北農政局津軽土地改良建設事務所

(適用範囲)

第1条 津軽北部二期農業水利事業十三湖機場他現場調査推進技術業務（以下「本業務」という。）の施行に当たっては、「現場技術業務共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）によるほか、同仕様書に対する特記及び追加事項は、この特別仕様書によるものとする。

なお、本業務は「現場技術業務の実施要領等について」（平成14年2月6日付け13農振第2788号農林水産省農村振興局長通知）別紙 現場技術業務実施要領第3の1 監督支援型による業務である。

(目的)

第2条 本業務は、津軽北部二期地区の事業推進のため十三湖機場他工事の設計及び工事の積算に関する資料等の作成、出来形管理及び品質管理の確認等を目的として実施するものである。

(履行確実性評価の達成状況の確認)

第3条 本業務の受注に当たり、予算決算及び会計令第85条の基準に基づく価格（以下、「調査基準価格」という。）を下回る金額で受注した場合には、履行確実性評価の審査で提出した追加資料について、業務実施状況を踏まえた実施額に修正し、これを裏付ける資料とともに、業務完了検査時に提出するものとする。その上で、提出された資料をもとに以下の内容について履行確実性評価の達成状況を確認し、その結果を業務成績に反映させるものとする。

なお、業務完了検査時まで提出されない場合には以降の提出を受け付けず、業務成績評価に厳格に反映させるものとする。

審査項目

- a) 業務内容に対応した費用が計上されているか。
- b) 配置予定技術者に適正な報酬が支払われることになっているか。
- c) 品質管理体制が確保されているか。
- d) 再委託先への支払いは適正か。

- (1) 審査項目 a) ～ c) において、審査時に比較して正当な理由なく必要額を下回った場合
- (2) 審査項目 d) において、審査時に比較して正当な理由なく再委託額が下回った場合
- (3) その他、業務計画書等に示された、実施体制、実施手順、工程計画が正当な理由なく異なる等、業務実施体制に関する問題が生じた場合
- (4) 業務成果品のミス、不備等

(管理技術者)

第4条 管理技術者の資格は次表のいずれか又はこれと同等の能力と経験を有する者とする。

なお、これと同等の能力と経験を有する技術者とは、大学卒業後13年（短大・高専卒業後18年、高校卒業後23年）以上相当の能力と経験を有する者とする。

資格
<ul style="list-style-type: none"> ・ 技術士（総合技術監理部門（農業－農業農村工学又は農業－農業土木）） ・ 技術士（農業部門（農業土木又は農業農村工学）） ・ 1級土木施工管理技士の資格を有する者。 ・ 農業土木技術管理士

（現場技術員）

第5条 現場技術員の技術者区分及び資格は、次のいずれかの者とする。

技術者区分	資格
現場技術員(C) 1人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 技術士（総合技術監理部門（農業－農業土木、農業－農業農村工学）） ・ 技術士（農業部門（農業土木又は農業農村工学）） ・ 1級又は2級土木施工管理技士 ・ 技術士補（農業部門） ・ 大学卒業後2年、短大・高専卒業後4年、高校卒業後6年以上の実務経験を有する者。

（配置技術者の確認）

第6条 共通仕様書第1－6条における業務組織表及び共通仕様書第1－7条に基づく技術者情報の登録に当たっては、次によるものとする。

- (1) 受注者は、業務実施計画書の業務組織表に配置技術者の所属・役職及び担当する分担業務を明確に記載するものとする。
 なお、変更業務実施計画書において、業務組織表を変更する際も同様とする。
- (2) 農業農村整備事業測量調査設計業務実績情報サービスへの技術者情報の登録は、業務実施計画書の業務組織表において位置づけられた技術者を登録対象とし、事前に監督職員の承認を得るものとする。

（保険加入）

第7条 受注者は、共通仕様書第1－28条に示されている保険に加入している旨を業務計画書に明示しなければならない。

また、監督職員からの請求があった場合は、保険加入を証明する書類を提示しなければならない。

（工事の概要）

第8条 本業務を行う工事の概要は、次表のとおりである。

工事名	工事場所	工期	工種・概略数量等
十三湖機場ポンプ設備改修（その4）工事	青森県五所川原市十三土佐地内	令和6年8月20日～ 令和9年3月10日	ポンプ設備改修1式
車力制水門改修工事	青森県つがる市富蒔町早緑地内他	令和6年9月2日～ 令和8年6月30日	制水門改修1式
車力制水門ゲート設備改修工事	青森県つがる市富蒔町初瀬地内	令和6年9月6日～ 令和8年3月10日	制水門ゲート改修1式

工事名	工事場所	工期	工種・概略数量等
新河排水機場ポンプ設備改修工事	青森県北津軽郡中泊町大字田茂木字若宮地内	令和7年9月～ 令和10年3月 (予定)	ポンプ設備改修1式
下車力幹線排水路(その9)工事	青森県つがる市牛潟町字鷲尻地内他	令和7年8月～ 令和8年3月 (予定)	鋼矢板補修L=487m
下車力幹線排水路(その10)工事	青森県つがる市牛潟町字鷲尻地内他	令和7年8月～ 令和8年3月 (予定)	鋼矢板補修L=510m
砂山幹線排水路改修(その2)工事	青森県つがる市稲垣町沼館田光地内他	令和7年8月～ 令和8年3月 (予定)	鋼矢板補修L=3,600m
十三湖幹線用水路他施設改修工事	青森県北津軽郡中泊町田茂木若宮地内他	令和7年8月～ 令和8年3月 (予定)	バルブ更新他1式

(業務場所)

第9条 業務場所は、東北農政局津軽土地改良建設事務所津軽北部二期農業水利事業建設所内及び当該事業実施地域内を予定しており、業務期間中は庁舎を無償で使用させるものとする。

設計及び関係機関等の調整に関する資料作成等については、受発注者間で協議の上、テレワークにより業務を実施することができる。なお、詳細については、監督職員と協議の上決定するものとする。

(履行期間)

第10条 履行期間は次のとおりとする。

令和7年4月15日～令和8年3月25日

(業務内容)

第11条 業務内容等については、次のとおりとする。

- (1) 管理技術者の業務内容は、契約書第10条第2項に定める業務運営を行うものとする。
- (2) 本業務に従事する現場技術員は、現場技術員(C)とし、その業務内容は次のとおりとする。
 - 1) 設計に関する業務

設計及び工事の積算に必要な所定の図面、数量、その他の資料作成に関する業務
 - 2) 監督に関する業務

ア 工事の契約図書で実施方法、規格等の基準が定められている出来形、品質及び工程管理等高度な判断を要しない業務

イ 工事の監督職員と施工業者及び地元関係者等との連絡業務

ウ 工事検査に必要な資料の作成に関する業務
 - 3) 関係機関等との協議資料作成に関する業務

- ア 河川協議に関する資料等の作成
 - イ 道路協議に関する資料等の作成
 - ウ 基礎的資料の作成に関する業務
- 4) 事業実施に関する業務
- ア 積算参考資料等の作成
 - イ 基礎的資料の作成に関する業務

(作業上の留意事項)

第12条

- (1) 通勤用及び本業務用に自動車等を必要とする場合は、受注者において用意するものとする。
- (2) 業務履行に使用するパソコンについては、受注者において用意するものとする。
なお、機能等については監督職員と協議の上決定するものとするが、最新のパソコンに更新（アップデート）したウィルス対策ソフトがインストールされたウィルスチェック済みのパソコンとする。
業務期間満了等で業務に使用したパソコンを撤去する場合には、ハードディスク等のデータは完全に消去し、その結果を監督職員の確認を受けるものとする。
- (3) その他の機器、ソフト等の導入については、監督職員と協議の上、その使用について決定するものとし、業務遂行上特に必要と認められる場合は、設計変更の対象とする。
- (4) 受注者からの請求により発注者が必要と認めた場合には、庁舎の使用ができるものとする。この場合、机、椅子等は貸与する。
なお、貸与物件については、別途使用貸借申請書を監督職員に提出するものとする。
- (5) 前項により庁舎を使用する場合には、庁舎管理上、受注者は、予め本業務に従事させる現場技術員に会社名・氏名等について記載された名札を着用させるものとする。

(打合せ)

第13条 共通仕様書第1－5条による打合せについては、月1回以上行うものとし、監理技術者が出席するものとする。また、月2回目以降の打合せについては、監督職員と協議の上、書面等により行うことができるものとする。

なお、業務を適正かつ円滑に実施するために、受注者の業務担当は、業務打合せ記録簿を作成し、上記の打合せの都度内容について、監督職員と相互に確認するものとする。

ただし、調査基準価格を下回る価格で契約した場合においては、上記に定める打合せを含め、受注者の責により管理技術者の立ち会いの上で打合せ等を行うこととし、設計変更の対象とはしない。

(業務管理)

第14条 情報共有システムの業務について、次によるものとする。

- (1) 本業務は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより事務の効率化を図る情報共有システムの対象業務である。
- (2) 情報共有システムは「工事及び業務の情報共有システム活用要領」（農林水産省Webサイト参照）によるものとする。

(3) 受注者は、発注者から技術上の問題の把握、利用に当たっての評価を行うために聞き取り調査等を求められた場合、これに協力しなければならない。

(成果物)

第15条 成果物の提出は、次のとおりとする。

- (1) 業務実施報告書 1式
- (2) 共通仕様書第2-4条から第2-19条の規定により実施した業務において作成した資料 1式
- (3) その他必要な資料 1式

(成果物の提出先)

第16条 成果物の提出先は、次のとおりとする。

青森県北津軽郡中泊町大字中里字亀山225-1
東北農政局津軽土地改良建設事務所津軽北部二期農業水利事業建設所

(契約変更)

第17条 現場技術業務契約書第17条から第19条に規定する発注者と受注者による協議事項は、次のとおりとする。

- (1) 第5条に示す「現場技術員」に変更が生じた場合
- (2) 第8条に示す「工事の概要」に変更が生じた場合
- (3) 第9条に示す「業務場所」に変更が生じた場合
- (4) 第10条に示す「履行期間」に変更が生じた場合
- (5) 第11条に示す「業務内容」に変更が生じた場合
- (6) 第15条に示す「成果物」に変更が生じた場合
- (7) 業務場所の近隣に本支店がある場合
- (8) その他

(定めなき事項)

第18条 この特別仕様書に定めなき事項又はこの業務の実施に当たり疑義が生じた場合は、必要に応じて監督職員と協議するものとする。